

# FFTA10A

## CCD タッチスキャナ

# 取扱説明書

1.8b版

# 目次

接続手順 .....	2	
設定手順 .....	6	
設定を中止するには .....	6	
初期設定～インタフェースの選択 .....	7	
スキャンモードの設定 .....	8	
キーボード接続の各種設定		
1. Caps Lock の設定 .....	9	
2. 大文字固定 .....	9	
RS-232 接続の各種設定		
1. ボーレート .....	10	
2. データビット .....	10	
3. パリティ .....	11	
4. ハンドシェイク .....	11	
付加文字列の設定		
プリフィックス／サフィックスの設定 .....	12	
ターミネータの設定 .....	13	
読み取りバーコードシンボル体系の設定		
すべてのバーコードシンボル体系の読み取りを許可する .....	14	
CODE39 .....	15	
Interleaved 2 of 5 (ITF) .....	17	
Industrial 2 of 5 .....	18	
MATRIX 2 of 5 .....	19	
CODE 128 .....	20	
CODABAR / NW7 .....	21	
EAN-13 / JAN-13 .....	23	
EAN-8 / JAN-8 .....	24	
UPC-A .....	25	
UPC-E .....	26	
UPC / EAN 変換とアドオン .....	27	
保守メニュー		
ファームウェアのバージョン確認 .....	28	
主な仕様 .....		29
FFTA10ARS RS232 ケーブル ピン配列表 .....	29	
16 進設定バーコード .....	30	
ASCII キャラクタ配列表 (00hex～7Fhex) .....	31	
特殊キー配列表 (81hex～B0hex) .....	32	

# 接続手順

## 1. キーボードインタフェース(FFTA10AKB)の接続手順

- 1) スキャナのケーブルが、PCに正しく接続できるか確認します。
- 2) PCの電源を切ります。
- 3) キーボードをPCから取り外します。
- 4) キーボードをスキャナのケーブルの分岐している部分に取り付けます。
- 5) スキャナのケーブルをPCに接続します。
- 6) PCの電源を入れます。
- 7) スキャナのブザーが鳴れば、準備完了です。「初期設定～インタフェースの選択」でデスクトップ接続またはノートブック接続に設定してご使用ください。

## 2. RS-232 インタフェース(FFTA10ARS)の接続手順

- 1) スキャナのケーブルが、使用する機器の RS-232 ポートに正しく接続できるか確認します。
- 2) スキャナに電源が供給されているか確認してください。
- 3) ケーブルを機器の RS-232 コネクタに接続します。
- 4) スキャナのブザーが鳴れば、準備完了です。「初期設定～インタフェースの選択」で RS-232 接続に設定してご使用ください。

## 3. USB インタフェース(FFTA10AUSB)の接続手順

### 1) ドライバのインストール

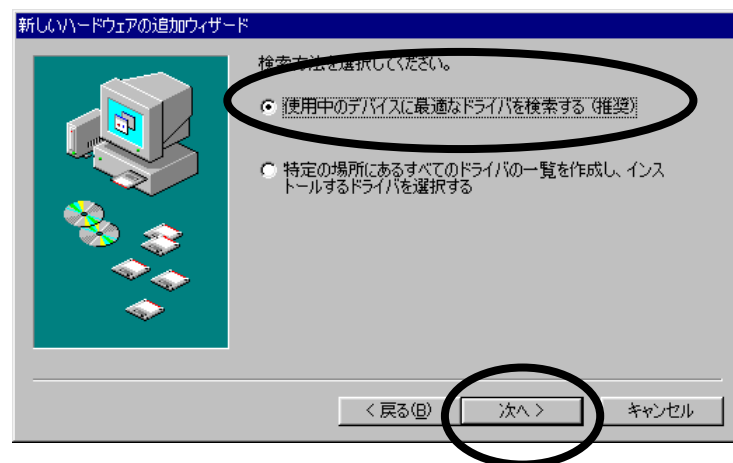
FFTA10AUSB を初めて PC に接続する際、「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」ドライバのインストールが必要になります。ここでは、Windows98SE での画面を用いて、インストール手順を説明します。他の OS でも、ダイアログ表示が多少異なりますが、ほぼ同じ手順です。OSによっては、自動でインストールが進む場合もあります。

- a) PC に電源を投入し、Windows を起動します。
- b) スキャナの USB コネクタを、PC の USB ポートに接続します。  
※USB ハブは使用せず、スキャナを直接 PC に接続してください。USB ハブを使用した場合、スキャナの動作が不安定になったり、動作しなかったりする場合があります。弊社では、USB ハブの使用はサポート外とさせて頂いておりますのでご了承ください。
- c) スキャナのブザーが鳴り、PC のディスプレイ画面に「新しいハードウェア」のダイアログが数秒間表示された後、「新しいハードウェアの追加ウィザード」のダイアログが表示されます。

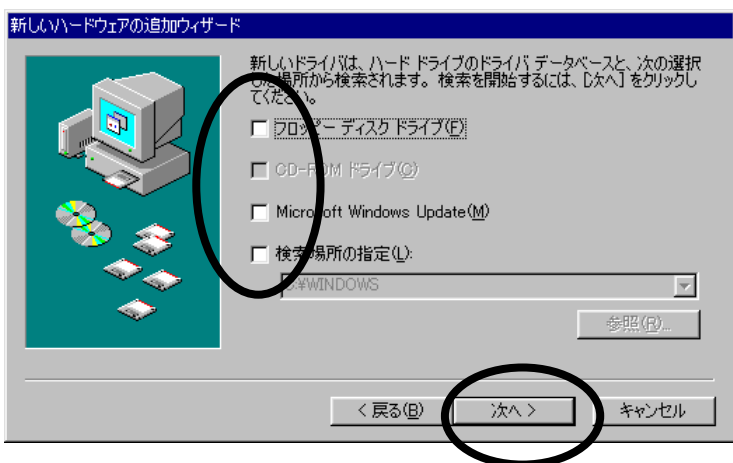
d) 「次へ」ボタンをクリックします。



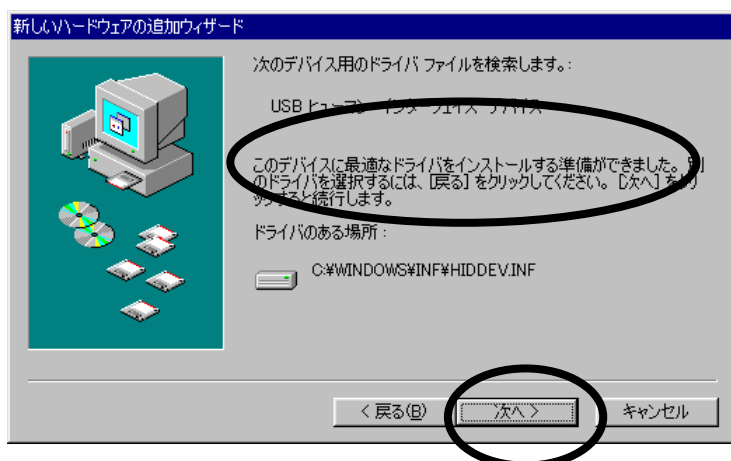
e) 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



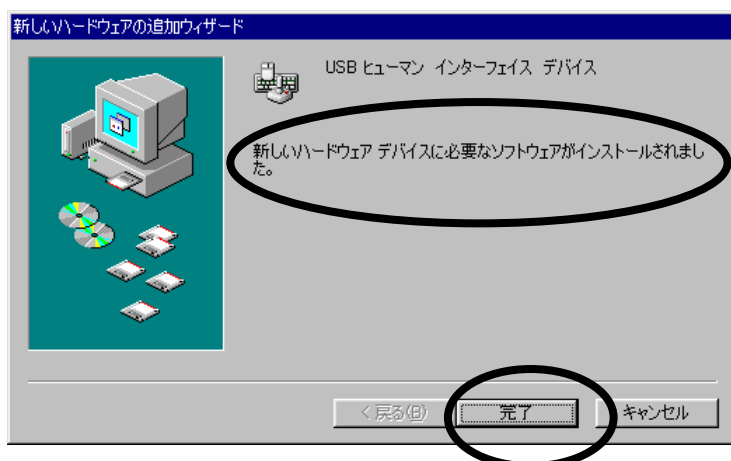
f) チェックマークは付けずに、「次へ」ボタンをクリックします。



g) 「このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができました。」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。



h) 「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックします。これでインストールは完了です。

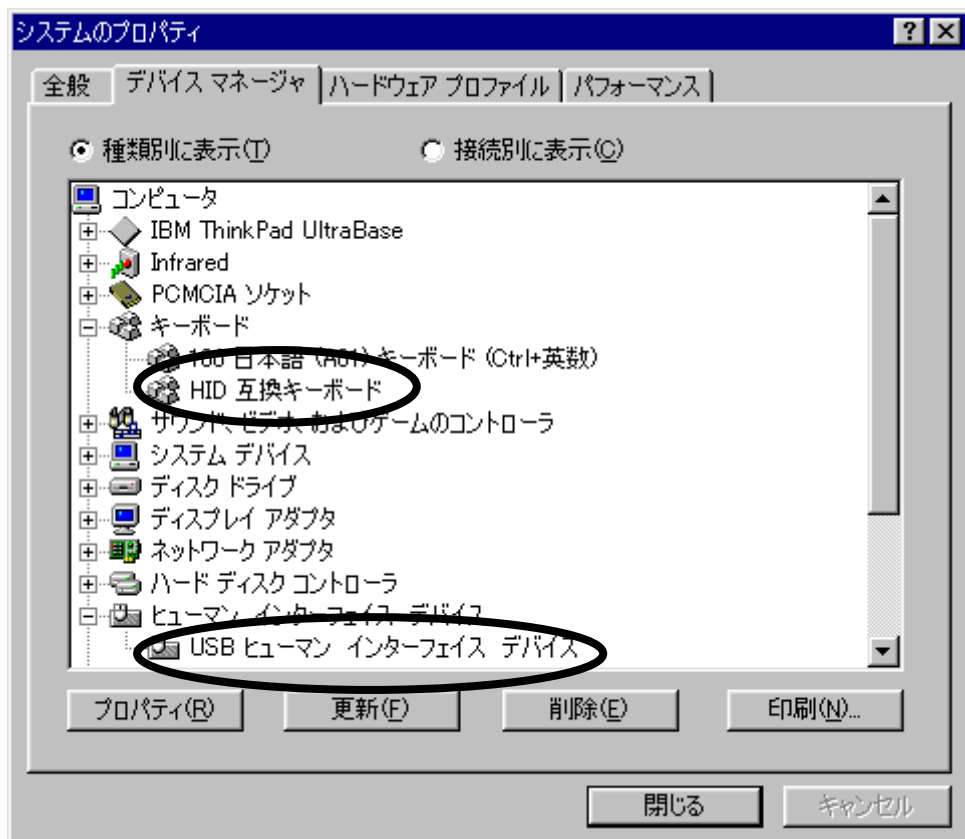


なお、このインストール手順の c ~ h は、2回繰り返される場合があります。

i) 「デバイス マネージャ」に、次のように表示されているか確認します。

- 「キーボード」に「HID 互換キーボード」(または同様の表示)
- 「ヒューマン インターフェイス デバイス」に「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」(または同様の表示)

※これらの表示は、スキャナを接続している間だけ表示されます。



2) ドライバのインストールが完了すれば準備完了です。「初期設定～インタフェースの選択」で USB 接続に設定してご使用ください。

※「デバイス マネージャ」で上記 i の項目が表示されているにもかかわらずスキャナが動作しない、または動作はするが読み取ったデータが表示されない場合は、スキャナのケーブルを PC から一旦抜いて、再度差し込んでください。

## 設定手順

- 1) 変更したいパラメータが記載されているページを開きます。
- 2) ページ左上の「開始」バーコードを読み取ります。  
ビープ音が鳴り、設定の準備ができたことを知らせます。
- 3) 変更したいパラメータのバーコードを読み取ります。  
ビープ音が鳴り、設定バーコードを読み取ったことを知らせます。
- 4) ページ右上の「終了」バーコードを読み取ります。  
ビープ音が鳴り、設定が終了したことを知らせます。
- 5) 複数のパラメータを変更する場合は、同様に繰り返してください。

### ◆備考

設定内容がわからなくなってしまった場合は、一度初期設定に戻してから必要に応じてパラメータを変更してください。

### ◆設定例

◇Interleaved 2 of 5(ITF)の読み取りを許可する場合:

- 1) 12ページを開きます。
- 2) ページ左上の「開始」バーコードを読み取ります。
- 3) 「読み取り許可」バーコードを読み取ります。
- 4) ページ右上の「終了」バーコードを読み取ります。

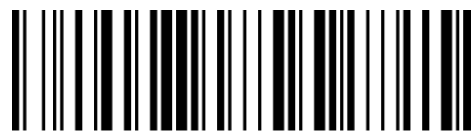
## 設定を中止するには

※この項の設定では、「開始」「終了」バーコードの読み取りは必要ありません。

目的のメニューバーコードを直接読み取りしてください。

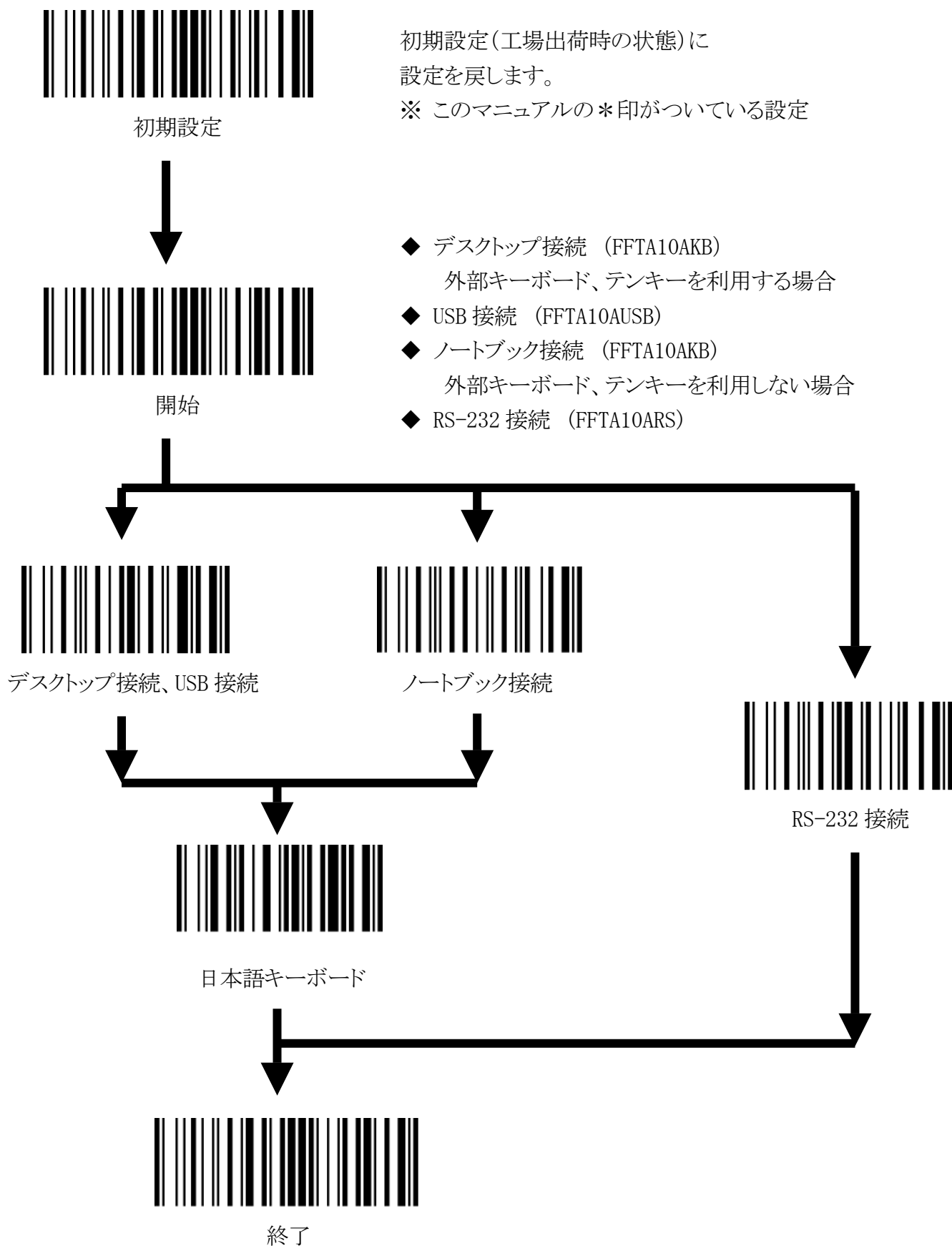


設定中止  
設定を途中で終了する場合に  
読み取ります



設定中にLEDが点灯するが、バーコードを  
読み取らない状態になってしまったときは、  
この設定バーコードを読み取りしてください。

## 初期設定～インタフェースの選択





開始

## スキャンモードの設定

※この項目の設定では、「終了」バーコードを読み取りする必要はありません。

「開始」バーコードに続いて目的のメニューバーコードを読み取りすれば設定完了となります。

※スキャンモードの変更は、設定完了後にトリガーを押すと有効になります。



トリガーon/off

トリガーを押している間、LED が点灯し、読み取りを行います。  
トリガーを離すと LED が消灯します。



\* トリガーon/読み取り成功 off

トリガーを押すと LED が点灯し、読み取りを行います。  
読み取りに成功すると LED が消灯します。  
(トリガーを押してすぐ離した場合でも、3 秒間は LED が  
点灯して読み取りを行います。)



連続 on/トリガーoff

トリガーを押すと LED が点灯したままになり、連続読み取りが  
可能になります。  
もう一度トリガーを押すと、LED が消灯します。



連続 on/常時点灯

LED が常時点灯します。連続読み取りが可能です。  
(設定完了後、一度トリガーを押すと常時点灯になります。)



開始



終了

---

## キーボード接続の各種設定

### 1. Caps Lock の設定



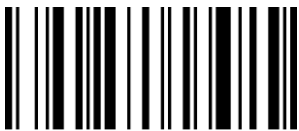
Caps Lock ON



\* Caps Lock OFF

※ON にすると、バーコードデータのアルファベットの大文字を小文字に、小文字を大文字に変換します。  
PCの Caps Lock が ON になっていて、データの大文字と小文字が逆になってしまう場合に有効です。

### 2. 大文字固定



Upper Caps Lock ON



\* Upper Caps Lock OFF

※ON にすると、バーコードデータのアルファベットをすべて大文字に変換します。  
PCの Caps Lock の状態に左右されません。

※この項目を ON にすると、一部の表計算ソフトやワープロソフトで、入力が不安定になる場合があります。



開始

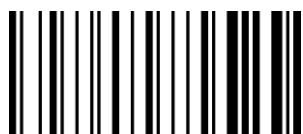


終了

---

## RS-232 接続の各種設定

### 1. ボーレート



1200



2400



4800



\* 9600



19200



38400

### 2. データビット



7ビット



\* 8ビット



開始



終了

---

## RS-232 接続の各種設定(続き)

### 3. パリティ



奇数(Odd)



偶数(Even)

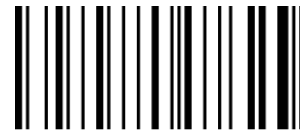


\* なし(None)

### 4. ハンドシェイク



ハードウェア (RTS/CTS)



ソフトウェア (Xon/Xoff)



\* なし(無手順)



開始

## 付加文字列の設定

バーコードデータの前後に任意の文字列を付加することができます。

プリフィックス(データ前付加文字列)、サフィックス(データ後付加文字列)およびターミネータ(終端文字)を設定できます。

データに対するそれぞれの付加位置は次の通りです。

[プリフィックス:0~12文字][データ:1~64文字][サフィックス:0~12文字][ターミネータ:0または1文字]

## プリフィックス／サフィックスの設定

データの前後に各最大12文字、任意の文字列を付加することができます。

※この項目の設定では、「終了」バーコードを読み取りする必要はありません。

「開始」、「プリフィックスの設定」または「サフィックスの設定」バーコードに続いて、付加したい文字の hex コード(2桁)を12文字分、巻末の「16進設定バーコード」で読み取りすれば設定完了になります。

11文字以下に設定する場合は、必要分の hex コードを読み取った時点で「16進設定バーコード」の「決定」バーコードを読み取りすれば設定完了になります。

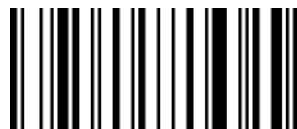
※FFTA10ARS で設定可能な文字は、ASCII キャラクタ(00hex~7Fhex)です。

※FFTA10AKB／FFTA10AUSB では、ASCII キャラクタ(00hex~7Fhex)に加えて、特殊キーを 81hex~B0hex で設定可能です。

※各文字の hex コードは、巻末の「ASCII キャラクタ配列表」および「特殊キー配列表」をご参照ください。



プリフィックスの設定



サフィックスの設定



開始



終了

---

## ターミナータの設定



None (付加しない)



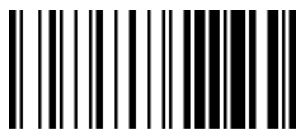
\* CR



Space



Tab



Esc



Ctrl + C



LF (RS232 のみ)



CR/LF (RS232 のみ)



開始



終了

---

## 読み取りバーコードシンボル体系の設定

1. すべてのバーコードシンボル体系の読み取りを許可する



すべて許可

※読み取りたいバーコードのシンボル体系が判らないときは、上記「すべて許可」設定バーコードを読み取り、すべてのバーコードシンボル体系の読み取りを許可にします。

※読み取りたいバーコードのシンボル体系が判っていて、想定外のバーコードを誤って読み取るのを避けたい場合は、次ページ以降のメニューで、シンボル体系ごとに個別に読み取り許可／禁止を設定します。



開始



終了

## CODE39

### 1. 読み取り許可



\* 読み取り許可



読み取り禁止

### 2. ASCII 変換



Full ASCII 変換する



\* Full ASCII 変換しない

### 3. スタート/ストップキャラクタ転送



転送する



\* 転送しない

### 4. チェックデジット転送



\* 転送する



転送しない



開始



終了

---

## CODE39(続き)

### 5. チェックデジット照合



チェックデジット有り



\* チェックデジット無し



開始



終了

## Interleaved 2 of 5 (ITF)

### 1. 読み取り許可



読み取り許可



\* 読み取り禁止

### 2. チェックデジット転送



\* 転送する



転送しない

### 3. チェックデジット照合



チェックデジット有り



\* チェックデジット無し



開始



終了

## Industrial 2 of 5

### 1. 読み取り許可



読み取り許可



\* 読み取り禁止

### 2. チェックデジット転送



\* 転送する



転送しない

### 3. チェックデジット照合



チェックデジット有り



\* チェックデジット無し



開始



終了

## MATRIX 2 of 5

### 1. 読み取り許可



読み取り許可



\* 読み取り禁止

### 2. チェックデジット転送



\* 転送する



転送しない

### 3. チェックデジット照合



チェックデジット有り



\* チェックデジット無し



開始



終了

---

## CODE 128

### 1. 読み取り許可



\* 読み取り許可



読み取り禁止



開始



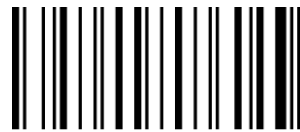
終了

## CODABAR / NW7

### 1. 読み取り許可



\* 読み取り許可



読み取り禁止

### 2. スタート/ストップコード転送



転送する



\* 転送しない

### 3. スタート/ストップコード



ABCD / ABCD



ABCD / TN\*E



\* ABCD / abcd



Abcd / tn\*e



開始



終了

---

## CODABAR / NW7(続き)

### 4. キャラクタ間ギャップのチェック



\* チェックする



チェックしない

※CODABAR/NW7 を読み取れなかったり読みが悪かったりする場合は、「チェックしない」に設定します。



開始



終了

---

## EAN-13 / JAN-13

### 1. 読み取り許可



\* 読み取り許可



読み取り禁止

### 2. EAN-13 / JAN-13 チェックデジット転送



\* 転送する



転送しない



開始



終了

## EAN-8 / JAN-8

### 1. 読み取り許可



\* 読み取り許可



読み取り禁止

### 2. チェックデジット転送



\* 転送する



転送しない



開始



終了

---

## UPC-A

### 1. 読み取り許可



\* 読み取り許可



読み取り禁止

※UPC-A を「読み取り禁止」に設定しても、EAN-13 / JAN-13 を「読み取り許可」に設定している場合、UPC-A を EAN-13 とみなして読み取りを行い、13 桁に変換(左端に0を付加)して送信します。

### 2. UPC-A チェックデジット転送



\* 転送する



転送しない



開始



終了

## UPC-E

### 1. 読み取り許可



\* 読み取り許可



読み取り禁止

### 2. チェックデジット転送



\* 転送する



転送しない



開始



終了

## UPC / EAN 変換 とアドオン

### 1. UPC-E を UPC-A に変換



変換する



\* 変換しない

### 2. UPC-A を EAN-13 / JAN-13 に変換



変換する



\* 変換しない

### 3. EAN-8 / JAN-8 を EAN-13 / JAN-13 に変換



変換する



\* 変換しない

### 4. EAN / JAN / UPC アドオン 2桁/5桁 の読み取り許可



読み取り許可



\* 読み取り禁止

---

## 保守メニュー

### 1. ファームウェアのバージョン確認

※この項の設定では、「開始」「終了」バーコードの読み取りは必要ありません。  
目的のメニューバーコードを直接読み取りしてください。



バージョン確認

このメニューバーコードを読み取ると、ファームウェアのバージョンがデータとしてスキャナから送信されます。

※本取扱説明書(1.8版)は、ファームウェアバージョン「anly 3.18 - NOV. 08, 2002 -」に対応しています。

(編集の都合上、このページは空白です)

(編集の都合上、このページは空白です)

### 主な仕様

型番	FFTA10AUSB	FFTA10AKB	FFTA10ARS
インターフェース	USBキーボード	PS/2キーボード	RS-232シリアル
コネクタ形状	USB(Aタイプ)オス	miniDIN 6pin オス/メス	D-Sub 9pin メス
読取幅	75mm(接触時)		
読取深度	0~40mm		
光源	赤色LED (660nm)		
読取コード	JAN/EAN/UPC, CODE39, NW-7 (CODABAR), CODE128, ITF (Interleaved 2of5), Industrial 2 of 5, MATRIX 2 of 5 など		
分解能	0.15mm		
使用温度	0~50℃		
使用湿度	5~95%RH (非結露)		
電源電圧	DC 5.0V ± 5%		
消費電力	84mA		
質量(ケーブル含まず)	120g		
大きさ	85(W) × 170(L) × 52(H)mm		
ケーブル長	ストレートケーブル:2.3m	ストレートケーブル:1.8m	ストレートケーブル:2.3m
対応 OS	Windows98以降、その他 USB(HID)をサポートする OS	DOS、Windows3.1以降	RS-232シリアルポートを装備しているPC/制御機器

FFTA10ARS RS232 ケーブル ピン配列表

電源ジャック	D-Sub 9ピン (メス) ピン番号	信号名 (※1)		信号方向 DCE⇄DTE
アウター (※2)	1	FG	Frame Ground	—
	2	RD	Receive Data	→
	3	SD	Send Data	←
アウター (※2)	4	未接続	未接続	—
	5	SG	Signal Ground	—
	6	未接続	未接続	—
センター (※3)	7	RS	Request to Send	←
	8	CS	Clear to Send	→
センター (※3)	9	VCC	+DC5V 84mA 以上	—

※1.

信号名は、ホスト(DTE)側から見た名称です。

※2.

1番ピン、5番ピンおよび電源ジャックのアウターは、内部的に共通です。

※3.

9番ピンと電源ジャックのセンターとは内部的に共通で、排他ではありません。

9番ピンから電源供給する場合は、外部電源ジャックから絶対に電源供給をしないでください。

16進設定バーコード



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9



A



B



C



D



E



F



決定

ASCII キャラクタ配列表 (00hex~7Fhex)

上位桁 下位桁	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	空白	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	“	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	‘	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

特殊キー配列表 (81hex~B0hex) (キーボードウェッジのみ)

上位桁 下位桁	8	9	A	B
0		F1	-(テンキー)	左 Shift 押しながら Tab
1	Home	F2	*(テンキー)	
2	End	F3	/(テンキー)	
3	Page Up	F4	Caps Lock	
4	Page Down	F5	Num Lock	
5	Insert	F6	左 Alt	
6	Delete	F7	左 Ctrl	
7	+(テンキー)	F8	左 Shift	
8	Back Space	F9	右 Alt	
9	Tab	F10	右 Ctrl	
A	Enter	F11	右 Shift	
B	←	Esc	左 Alt Make(※2)	
C	→	F12	左 Alt Break(※2)	
D	Enter(テンキー)	左 Shift 押しながら 1キャラクタ(※1)	左 Ctrl Make(※2)	
E	↑	左 Ctrl 押しながら 1キャラクタ(※1)	左 Ctrl Break(※2)	
F	↓	左 Alt 押しながら 1キャラクタ(※1)	Print Screen	

※1

例) サフィックスを「左 Alt を押しながら“f”(66hex)を押す」に設定する場合

設定:

「開始」→「サフィックスの設定」→「9」→「F」→「6」→「6」→「決定」

サフィックスの設定内容:

“左 Alt”押す→“f”押して離す→“左 Alt”離す

※2

例) サフィックスを「左 Ctrl と左 Alt を押しながら“h”(68hex)を押す」に設定する場合

設定:

「開始」→「サフィックスの設定」→「A」→「D」→「A」→「B」→「6」→「8」→「A」→「C」→「A」→「E」→「決定」

サフィックスの設定内容:

“左 Ctrl”押す→“左 Alt”押す→“h”押して離す→“左 Alt”離す→“左 Ctrl”離す

## 日栄インテック株式会社

バーコード営業部

東京 〒116-0011 東京都荒川区西尾久 7-57-8  
TEL 03-3810-9045 FAX 03-3810-9065  
E-Mail info@barcode.ne.jp

大阪 〒552-0001 大阪府大阪市港区波除 1-1-13  
TEL 06-6583-8101 FAX 06-6583-8102  
E-Mail osaka@barcode.ne.jp

福岡 〒816-0088 福岡県福岡市博多区板付 1-11-29  
TEL 092-474-9367 FAX 092-474-9623  
E-Mail fukuoka@barcode.ne.jp

URL <http://www.barcode.ne.jp/>